



『科学技術週間』の 都立高専の催し

都立産業技術高専

ものづくり工学科・吉田喜一

『科学技術週間』は、広く一般国民の関心と理解を深め科学技術の振興を図ることを趣旨として、各種の行事を集中的に実施する期間とされています。2008年度の『科学技術週間』は、4月14日(月)から4月20日(日)までの期間が予定されています。

東京都では青少年やその保護者等の都民へのさらなる科学技術の普及及び啓発推進の必要性や産業科学技術振興指針の今年度の改訂から、日本科学技術未来館(お台場)で『特別行事』を行います。4月19日(土)お台場の日本科学技術未来館(ゆりかもめ・テレコムセンター徒歩5分)に東京都全体の各種イベントを行います。この日は科学技術未来館は入場無料です。

都立産業技術高専はここで午前、

午後各種行事を行います。紙ブーメラン、戻るカミヒコーキ、フライングリングの製作教室を午前中に、パコカー(センサー搭載ロボットカー)の製作教室を午後に行います。これらは小学生以上対象のイベントです。また未就学児対象のリモコン型サツカーロボットによる操縦体験をして頂く『ロボット操縦コーナー』も企画しています。

さらにロボカップジュニアのデモ、かわさきロボットコンテストのデモ、NHK高専ロボコン(年末に放送されました。航空高専のロボコンマシンの)のデモも予定しています。いろいろなテレビで放送されたロボコンマシンを実際に見たりさわったりできます。

そして、昨年末から設計製作された荒川区(北区・足立区・台東区・若干の私立中学生を含む)の中学生ロボコンのエキシビジョンマッチも午後に行います。これまで1月20日(日)航空高専で、2月2日(土)北区で、3月9日(日)荒川区産業展で中学生ロボコンが行われてきました。その最後の大会を日本科学未来館で行います。また、航空高専の学生が開発している超小型人工衛星も見ることが出来ます。各種テレビ、新聞が取材に来ます。是非おいでください。



眼精疲労の予防は正しい視力から

今回は、私の本業であるメガネのお話です。

現代は、「情報化社会」と呼ばれて久しいですが、中でも目から入る「視覚情報」は最も重要な位置付けになると思います。例えば、テレビを見たり、新聞や本を読んだり、パソコンやカーナビを操作したり：とところで、その「視覚情報」の入力を支えている、人がモノを見るチカラ「視力」をおろそかにしている方が、この仕事をしていると案外多いことに気付かされます。

視力が多少落ちていても、自分自身では意外と気付いていない場合もあるのですが、見づらいとウスウス感じていながらも、何となく放っておいたり、随分以前に作った度の合わないメガネを使い続けていたり、簡便な老眼鏡を掛けるだけで済ませている方が少なくありません。メガネは面倒だからとガマンして、気合で(?)モノを見ている強者も…。しかし、「目が疲れやすい」「頭が

痛い」「肩がこる」という症状をお持ちの方は要注意!その症状、目がストレスを感じているという「眼精疲労」のサインかもしれません。今の視力を確認しておくことが重要です。

学生さんやお勤めの方は、毎年健康診断(視力検査)がありますが、それ以外の皆様は是非、当店で視力検査をお申し付け下さい。メガネを変えたらスッキリした、というお客様の声をよく頂きます。なお、眼の病気(白内障、緑内障、加齢黄斑変性症、など)が心配な場合は、まず眼科さんの受診をお勧めします。最近のメガネは、値段、掛け心地、機能、デザインなど昔と比べて格段に選択の幅が広がっています。ご質問は、どうぞ気軽にお寄せ下さい。

【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆
南千住5丁目43の13【コツ通り】
TEL(3806) 4930

★営業時間のご案内★

平日・土曜:AM10時~PM7時30分
日曜・祝日:AM11時~PM6時30分

◎3月23日【みなせんまつり当日限り】お買い得品をご用意しました。

営業はAM10時~PM5時となります。

◎3月24、31日、4月7、17日は休業日でございます。

